

# 八坂工芸がつなげる「未来」の継美隊のビジョン

## 1. 企業とのつながり

企業が継美隊に協賛することでできること

八坂工芸が企業の商品に「継美隊」を印刷することで、その商品の付加価値が生まれる。それはただの付加価値ではなく、「継美隊」の印刷された商品を購入することで認定 NPO、NGO に寄付ができる仕組みなので、企業にとってはこれからの時代に寄り添ったビジネスプランとしてコラボレーションが可能となる。

これは小さなゴミと一緒にような、八坂工芸という小さな町工場が起こすプロジェクトである。

## 2. T シャツを企業で買うことのメリット

継美隊 T シャツの右袖に企業ロゴを入れることが可能。(それ以外でもデザイン変更可能。)

それを買うだけで環境保全に貢献しているので、企業が海亀や継美隊のロゴ入りコラボグッズを販売や配布した場合のイメージアップにつながる。

企業の広告宣伝費として使われる予算に継美隊を取り入れることで、その商品に対してドラマが生まれる。

今まで、販促品は企業側がノベルティを作るための目的としては「流行っているから」「認知度を上げるため」などの印刷のみだった。

ここで海亀や継美隊のプリントが入ることにより、ノベルティを渡す際に寄付ができる仕組みになり、ノベルティの意味（環境を考えた付加価値、）が生まれる。

現在、継美隊は個人で活動する方々が主だが、環境について見直されている今、企業こそが継美隊をバックアップすることで、企業は個人で活動する方々を応援することにつながる。

今までの「無駄」から、間に寄付が入ることによって、地球環境への取り組みの意味があるもので、渡された人の意識を変える期待ができるノベルティになる。

会社の取引としても、SDGs 項目 17-にも繋がる。

【17. パートナーシップで目標を達成しよう持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グ

【グローバル・パートナーシップを活性化する】



図：継美隊の「つながり」の仕組み

### 3.個人の思いを形にできるのが企業

現在、継美隊 T シャツを着て活動している方々は、環境保全に対して意識のある人や、関心を持ってしっかりと未来の地球のヴィジョンを持っている人が多い。

しかし、個人個人の力では、その思いに辿り着けない量のゴミが毎日捨てられている。ゴミを捨てる側から拾う人間になるには、全国の継美隊が啓発し続けることが重要。

そのような本気のクリーン作戦を実行している継美隊に、心の折れそうになった時や、ゴミ拾いをしているの楽しみとして、今後様々な継美隊グッズを作成することを企画している。

そのグッズの作成も継美隊 T シャツの売り上げから作成されるため、企業が協賛（継美隊を購入）または八坂工芸とコラボレーションすることによって良い経済の循環が生まれ、継美隊を着て活動する方々が、今まで以上にますます楽しめるゴミ拾いが可能となる。

#### 4.海がないから継美隊は関係ない…それは違う。内陸の人こそ継美隊を着るべき理由

継美隊の T シャツの特徴として、活動場所の海域と、海域コードが印刷されている。

間違えられがちだが、実は内陸、山間部の方こそ継美隊活動を推奨する。

ちゃんとした方法で捨てられなかったゴミが山、川、街、そして海に辿り着く前に、食い止めるには、海岸沿いを清掃する力だけでは足りない。

内陸の方は自分の活動地域からどこに川が流れ着いているかを確認し、その海域コードを身につけて活動することが大切。

海洋汚染やマイクロプラスチックの問題は海だけではないし、人ごとではない。

ましてや日本だけの問題でもない。

海に流れ出るものはゴミだけではなく、ダイオキシンを含む農薬等にも目を向けなければならない。将来の子供たちの安全な食事や健康的な生活のためにも、今できることを国全体で行動すべきなのである。

全てが繋がっていることに気がついた人は、能書きを並べる前に継美隊活動をするようになる。

#### 5.人と人とのつながりがあるからこそ、ゴミ拾いの継続が可能になる

継美隊は団体ではないため、個人やボランティア団体が個々に活動している。

今まで個人でゴミ拾い活動をしていた人が、その地域の活動で継美隊 T シャツを着る事によって、一人ではない「つながり」を感じることができ、心が折れにくくなったという声もいただいた。

また、離れた地域でのリモートゴミ拾いをする事で、一体感と責任感も生まれ、より一層やりがいを感じる事ができる。

また、別の海域に遊びに行った時に、行く先々で同じマークを背負っている人がいること

によって、親近感を覚え、コミュニケーションを取りやすくなる。輪が広がり、活性化生まれ、刺激を覚え、自分の海域の活動にも一層熱が入る。

しかし、様々なポリシーを持って活動されている人も多々いるので、団体にせず、それぞれの地域の活性を考えて活動している方々をサポートするのが継美隊の強みである。

個々の活動の尊重が一番だが、まずは自分のレジャーや生活の範囲の環境保護＝継美隊になることが目標。

今ゴミ拾い活動をしている人が継美隊を着て認知度が上がった場合の効果の期待として、極端にいうとゴミ拾いしている人は着なくてよいとも言える。

ゴミ拾いをしたくないが、ゴミ拾いはいいことだと思っている方が継美隊 T シャツを普段から着ることでゴミ拾い活動している人たちを応援ができる。継美隊が広まって認知度が上がれば、ゴミ拾いしている人の為にも環境保全の啓発がさらに促される為だ。

ゴミ拾いをする「継美隊」は、従来の継美隊 T シャツ、ゴミ拾いを応援する「継美隊」は、海亀のみのさまざまなシーンで着られるデザインにすることで、気軽に私たちの生活に継美隊が定着する。

## 6. 寄付の流れは明確な団体に

継美隊 T シャツは購入することで、10%から20%が認定 NPO、NGO 法人団体に寄付される仕組み。ではどのような団体に寄付するか。

国または県の“認定”を受けた NPO、NGO 団体はもちろん、さらに民間だと国境なき医師団への寄付を予定している。

それらの団体に寄付をするのは誰でもできるが、なぜ八坂工芸が寄付をするのか。

例えば継美隊 T シャツを購入してゴミ拾いをして、影響を受けた人が継美隊 T シャツを購入するとする。そして売り上げから八坂工芸が国境なき医師団に寄付をする。

もしもその寄付が少なからず命を救ったら、地球を綺麗にしなからさらに良い取り組みに関わった事になる。

寄付された大切なお金が、不透明な使い方をされないように、八坂工芸が慎重に選んだ団体への寄付を必ずする。

個人を応援するのが八坂工芸で、八坂工芸を応援するのが企業。

個人を支え、認定団体をつなげる「架け橋」こそが、継美隊の本来の目的なのである。

(大きく広がった場合はイベントなどを通して各地域、海域ごとの NPO、NGO 団体への寄付をし、継美隊活動をしている人たちの活動に還元されるようなシステムも検討している)

## 7.国を相手にできる理由

ゴミ問題は他国からの漂流物、他国で出す日本企業のゴミから国境問題にまで繋がっている根深い問題である。

継美隊を広める事により、国全体の本来調査すべき環境状況、これから発生する環境調査に関して、海域コードごとのゴミの量や種類を集計調査することが可能となる。

日本を統一する事で集計しやすい体制ができれば、未来に向けての対策もできるようになるはず。今こそ地球のためにできることのデータ化。その為の海域コードなのである。

継美隊を通じて国民が環境意識に目覚め、注目することで、身近な選挙にも関心が向く。

## 8.継美隊を着てゴミ拾い活動をする方々のリアルな声

◆「着てみたら、拾ってやるぜ！みたいな感情になりますね！ゴミ拾いで有名な人達と活動出来ることも」 \_伊勢湾継美隊 N さん

◆「沖縄のお土産って言われました」 \_相模湾継美隊 W さん

◆「変わったことは3つ

① 活動の幅が広がったこと

継美隊というキーワードだけで SNS だけでなく、リアルで会って活動するなど活動の幅が広がりました

② ゴミ拾いの団結力が増幅したこと

ゴミ拾いという共通点から継美隊という仲間意識が強まった。

③ T シャツからゴミ拾いに興味を持ってくれたこと

胸の数字は何？という所から継美隊って？そんな話題から興味を持ってくれた方がいました。」 \_遠州灘継美隊他・全国ボランティア I さん

◆「継美隊の皆さんとかかわれるようになり『社会的なつながり』を感じています。

基本的に一人で仕事をしているので、こういう場をもうけてもらえるのは、すごく精神

的に支えられています。」 \_熊野灘・紀伊水道継美隊 T さん

- ◆「以前よりも自身がゴミ拾いをするようになりました。  
ある場所では、初めて知り合った人が一緒にゴミを拾うこともしばしばありました。  
継美隊の服を着てゴミを拾うと、労いの言葉を多く聞くようになりました。  
いつもありがとうございます。あの服を着ている人最近見るねって話している方もいました。  
服を着ていると知り合いの輪が広がります。  
着ると責任感が出てきます！あと継美隊 T シャツがカッコいいって購入しようとしてくれる人もいました」 \_房総継美隊 Y さん
  
- ◆「特に変化はないです  
沖縄ってオリジナル T シャツめっちゃ作るの、当たり前とゆうかさほど目立たない？  
いつも通りボランティアしてる人がいるな～と思われるだけで特に近付きもしないかな？って感じです」 \_沖縄継美隊 Y さん
  
- ◆「人から『何その T シャツ？』とほぼ間違いなく聞かれるので、ゴミ問題の事、自身の活動のことをすんなり話をする事が出来るようになりました！  
最高のきっかけ作りアイテムです。  
あとは、仲間がいる実感が持てるのでがんばれます！！  
いつか、全く知らない同志で『あっ継美隊だ！』と発見し合う日が来ると楽しいですね」  
\_玄界灘継美隊 K さん
  
- ◆「めっちゃ心強い T シャツです。みなさんと本当に同じで、胸を張って堂々とゴミ拾いができるようになりました。ゴミ拾いに出かけたくなりました。  
継美隊 T シャツを愛するみなさんと繋がれました。一緒にゴミ拾いに参加してくれる人が増えました。ステキな T シャツを作ってくれてありがとうございます！」  
\_上越継美隊 M さん
  
- ◆「例えば販促品などで、クリアファイルなどをもらったとする。それはその時その人がいないと思ったらゴミになってしまう。ゴミを増やすことではなく、意味のある広告の使い方への提案で、人々の意識の変化が起きた時、物を大切に使うようになる。  
広告に付加価値がつけられて良いことが循環していく、そう思うと広告を作成する側にもやりがいを感じます。  
継美隊の仕組みを知れば知るほど、微力ながらも継美隊に、環境保護活動されている皆さんに貢献したいと思いました。」 \_鹿島灘継美隊 T (記述者)